

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.6 2009年3月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

NTT アイティ、情報共有ポータル、ユビキタス VPN、 Web 会議から構成されたパンデミック対策向けソリューションを発表

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、企業のパンデミック対策として不可欠な情報収集と事業継続を支援する「パンデミック対策支援ソリューション」の販売を開始した。(3月25日)オープン価格。

パンデミック対策支援ソリューションは、情報共有ポータルシステム「EasyCommunicator for SNS」、ユビキタス VPN 「マジックコネクト」、そして Web 会議システム「MeetingPlaza」より構成されている。これらのシステムは、平常時においても業務の生産性の向上や効率化にも活用できるため、パンデミック時のためだけに多額のシステム導入を行う必要はない。

EasyCommunicator for SNS は、企業内の情報共有と有効活用を図ることを目的としたシステムで、パンデミック発生時には、最新情報を自動収集し、社員に対して的確な情報周知を可能とする。今後は、音声認識、テロップ認識技術を使いさらなる収集メディアの拡大を予定している。

またマジックコネクトは、インターネットの Web サイトを閲覧できる環境にある任意の Windows PC に USB キーを挿すだけで、専用ソフトをインストールした社内の特定の PC やサーバへ VPN 接続し、リモートデスクトップなどを用いて社内 PC を自在に操作できる。外出自粛・禁止等の措置が取られた場合にも、自宅から会社 PC を操作し、テレワーク環境を実現することができる。

さらに、パソコンとインターネットを利用した多地点 Web 会議を活用することで、外出自粛・禁止時の社員間のコミュニケーションや顧客とのミーティングに活用ができる。

ポリコムジャパン、Polycom SoundPoint IP シリーズの新製品発表



Polycom SoundPoint IP 450 (ポリコムジャパン資料)

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、「Polycom SoundPoint IP」シリーズの新製品「Polycom SoundPoint IP 450(ポリコム サウンドポイント IP 450)」VoIP デスクトップ電話機を発表した。

Polycom SoundPoint IP 450 は、SIP 対応アプリケーションを搭載し、ポリコムの HD Voice(広帯域音声)技術、高解像度のバックライト付液晶ディスプレイ、3 回線通話、日本語を含む 16 言語をサポートしている。アナログ電話機や一般的な VoIP 電話機に比べ音声の明瞭度が 2 倍以上になっている。

その他の主な機能は以下の通り。(1) Polycom Productivity Suite Application(ポリコム・プロダクティビティ・スイート・アプリケーション)の稼働。(2) ウェブアプリケーション用 XHTML ブラウザー。(3) IEEE 802.3af 準拠の PoE(Power Over Ethernet)内蔵 10/100Mbps イーサネットポート。(4) PC を接続するための 10/100Mbps スイッチングイーサネットポート。(5) 専用の RJ-9 ヘッドフォンポート。

同製品は、2月25日よりポリコム社の認定販売代理店によって販売する。

製品・サービス動向-海外

Mirial社のH.323/SIPソフトフォン、1080pフルHDに対応

Mirial社は、2月26日に、同社のソフトフォン「Mirial Softphone version 6.2」が1080pのフルHDに対応したと発表した。Mirial Softphoneは、H.323とSIPに対応している。

Mirial SoftphoneのH.264/720pは、2007年7月18日にリリースされていたが、今回の新しいバージョンで720p対応から1080p対応になった。1080pのデコーディングとコーディングの両方をサポートする。

また多地点接続(3地点まで)、H.239デュアルビデオ(データ共有)、ビデオレコーディングなどの機能も搭載する。暗号化方式は、DTLS-SRTPに対応している。Mirial Softphoneは、30日間無償トライアルが行える。

同社は、1999年DyLogic社として設立。本社はミラノ。3G/UMTS、ユニファイドメッセージング、ビデオ/ボイスオーバーIP関連のソリューションを提供している。メディアサーバ、ビデオポータル、3Gゲートウェイなどを開発している。

導入利用事例

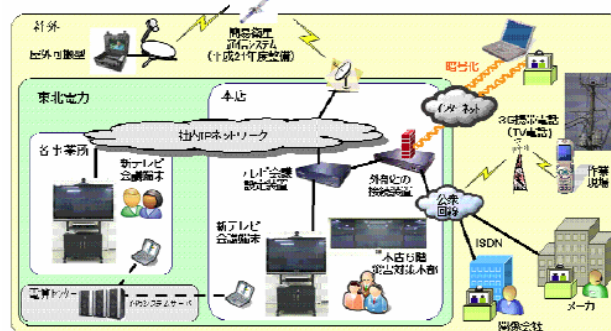
東北電力、122箇所に1080p対応テレビ会議システムを導入

東北電力株式会社(宮城県仙台市)は、本店、支店、発電所、営業所など122ヶ所に1080pフルハイビジョンに対応したテレビ会議システムを導入したと発表。

今回導入したテレビ会議システムは、各事業所に設置したテレビ会議端末と、本店および電算センタ(仙台市泉区)に分散配置したテレビ会議設定装置、そしてIPネットワークにより構成される。

同社によると、これほどの数の事業所を結ぶことができるフルハイビジョン対応のテレビ会議システムは現状では類例はないという。(3月2日)

図-1 新テレビ会議システム構成概略図



新テレビ会議システム構成概略図(東北電力資料)

今回同社が採用した新テレビ会議システムの特徴は以下の通り。(1)解像度1920 x 1080pのフルハイビジョンに対応した。(2)同時に開催できる会議数と接続できる数を増やし、会議を開催しやすくした。1会議あたり40箇所接続が可能だが、参加箇所数によっては同時開催最大50会議が可能。(3)社内パソコンやビデオカメラ、デジタルカメラなど様々な映像メディアを直接取り込めるようにした。(4)インターネットや携帯電話、衛星通信回線経由の接続(一部は予定)ができるようにした。

以前のシステムでは、解像度(解像度352x288)や会議規模(同時開催最大5会議まで、1会議あたり最大8箇所)、取り込める画像(書画カメラのみ)、会議する際の相手の端末(ISDNのみ)、人手による会議予約などの制約があったが、今回の導入で従来にも増して充実した内容の会議を行うことができるようになったのが特徴と同社では説明する。

今回の構築には、通研電気工業株式会社(宮城県仙台市)が設計施工を行い、東北インフォメーション・システムズ株式会社(宮城県仙台市)がテレビ会議予約システムを担当した。

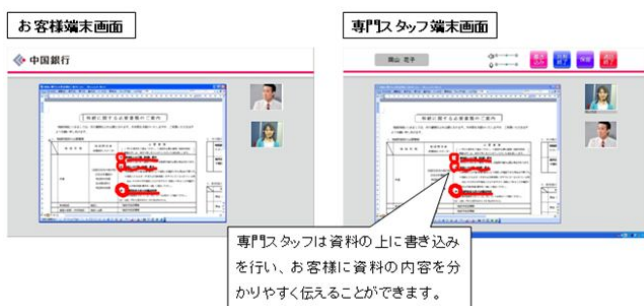
東北電力株式会社

<http://www.tohoku-epco.co.jp/>

沖電気工業、中国銀行に Visual Nexus を使用した遠隔窓口相談システムを納入



遠隔窓口相談システム運用イメージ（沖電気工業資料）



相談業務通話イメージ（沖電気工業資料）

沖電気工業株式会社（東京都港区）は、ビデオ会議システム「Visual Nexus(ビジュアルネクサス)」をベースとした遠隔窓口相談システムを株式会社中国銀行（岡山県岡山市）に納入した。中国銀行では、Visual Nexus を導入することで、相談業務の本部集中化を実現し、顧客サービスの向上を図る考えだ。

中国銀行では、3月6日から本店と岡山駅前支店でVisual Nexusを利用した相談業務の試行を開始した。さらに4月以降は対象店を拡大していき、2011年3月末を目処に全163店舗への導入を予定している。

相談業務は、銀行における預金などの遺産相続に関連する手続きを顧客からの申し出を受けて行う業務。中国銀行では、相続業務に精通した専門スタッフを集中配置し、支店を訪れた顧客に対してコンサルティングサービスが提供できるシステムの検討をしていた。Visual Nexus を採用した理由としては、PC を使いながらも高度な映像と音声技術で

実現していること、本部と支店を結ぶ既存のIPネットワークを利用することが可能であること、遠隔相談窓口業務に適した画面設計をVisual Nexusが持っているなどの点が評価されたという。

導入に際しては、一部カスタマイズし遠隔相談システムとして特化したVisual Nexusを搭載した専用の端末機（パソコン+Webカメラ+受話器）を本部と支店それぞれに設置。本部の専門スタッフと支店をつないで、相続業務の受付から勘定処理までの一連の業務を本部側で集中して行う。支店を訪れた顧客は、専用端末の画面上で本部の専門スタッフとお互いの顔を身ながら対話する。専門スタッフは、資料を画面上に共有し、申込のための必要書類の確認や記入方法を説明する。

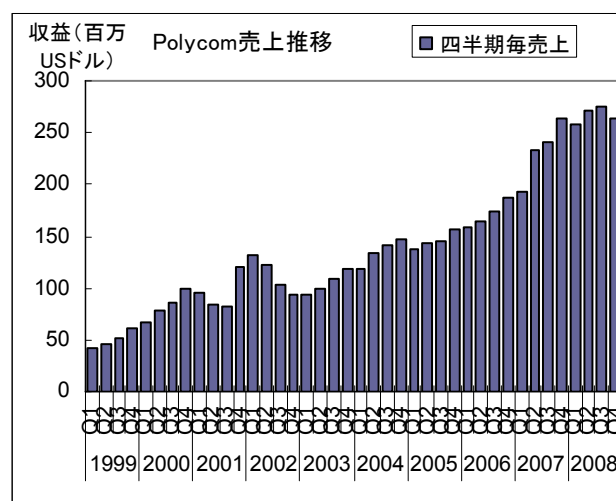
沖電気工業は、今後も金融機関をはじめ新規サービスの提供を検討している企業向けにVisual Nexusをベースとした遠隔窓口相談システムの提案をしていく予定。コスト削減や顧客満足度の向上へ貢献できると期待している。

中国銀行：<http://www.chugin.co.jp/>

2008年第四四半期 業績レポート-海外

*海外証券市場上場企業の業績

米ポリコム



米ポリコム社の2008年第四四半期の売上は、2億6300

万 USD。2008 年通年で、10 億 6930 万 USD。2007 年通年の 9 億 2990 万 USD から増加した。

第 4 四半期売上の内訳は、ビデオ会議端末が全体の売上の 54%、ネットワークシステムが、13%、そして音声会議が 33%。

地域別では、北米が 50%、欧州アフリカ中東が 28%、アジア太平洋は、19%、中南米は、3%。

米ポリコム社が開催した業績発表会(1 月 21 日)によると、ビデオ会議端末の第 4 半期の出荷台数は、19,831 台。テレプレゼンスシステムが、2008 年第 3 四半期、そして 2007 年第 4 四半期に比べ売上が二桁以上拡大しており、HD 対応システムがビデオ会議端末売上の半分以上を占めるようになってきたと説明。

テレプレゼンスシステムや HD システムは 2009 年の主要なレベニュードライバー (revenue driver: 収益増加に大きく貢献する製品) と考えており、これから予定されている新製品も収益の増加に貢献すると期待しているようだ。

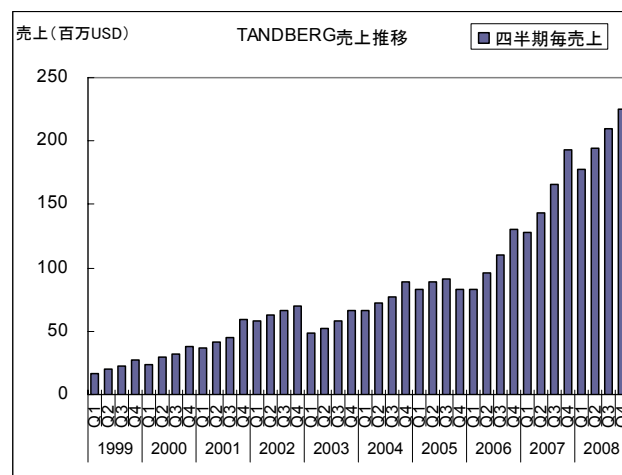
1 月 21 日の業績発表会では、その他、第 4 四半期に導入したユーザ企業が紹介され、テレプレゼンスシステムを導入した米証券取引関係会社や、中国全土の支店にネットワーク装置と 347 台のビデオ会議端末を導入した中国の銀行、RMX シリーズと CMA シリーズをビデオ会議システムの拡張として導入した放送局、HDX シリーズを導入した保険会社、また「SoundPoint IP」を 5000 台導入したオーストラリアの大学などが紹介された。

タンバーク (ノルウェー)

ノルウェーのビデオ会議メーカー タンバーク社の 2008 年第 4 四半期の売上は、2 億 2550 万 USD を記録。前年同期の 1 億 9290 万 USD から 17% 増。また通年では、8 億 880 万 USD で、前年の 6 億 3050 万 USD から 28% 増加。

売上の内訳については、同社の業績発表会資料(2 月 9 日開催。ストリーミング視聴可能)によると、端末が 65%、ネットワーク製品が 22%、付加価値サービスが 13% であった。また端末の出荷台数は、17,584 台。前年同期の 16,787 台から

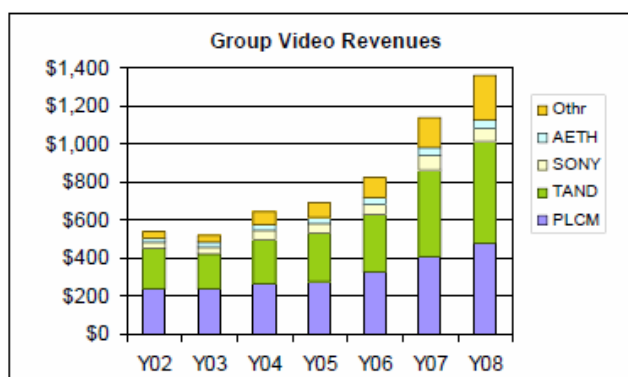
9% 増加。加えてネットワーク製品の売上は前年比で 51% 増となった。ネットワーク製品の関係では、Codian ソリューションのインテグレーションが完了したという。



地域別では、2008 年通年で、南北アメリカが、48%、欧州アフリカ中東が 40%、アジア太平洋が 12%。またアジアでは、クローズした大型の案件がいくつかあった。日経BP社の IT Pro Expo で「TANDBERG C90」が受賞されたことも業績発表会で報告されている。

市場動向

米 Wainhouse Research 社、2008 年テレビ会議専用端末ワールドワイド市場統計発表、市場は、約 14 億 USD に拡大



02 年-08 年テレビ会議専用端末売上ベース (WR 社資料)

Wainhouse Research(ウェイnhaus・リサーチ)社は、同社が発行する定期ニュースレター2009 年 3 月 11 日号に

2008 年通年と第四四半期(Q4、10 月-12 月期)のワールドワイドの市場統計を発表した。

2003 年に約 5 億 USD 程度あった専用端末市場は、2008 年には、ワールドワイドで、14 億 USD 近くまで市場が拡大した。

四半期	7 年 Q4	8 年 Q3	8 年 Q4	Q/Q	Y/Y
VS 売上	\$331	\$347	\$375	7.9%	13.3%
VS 台数	60,000	58,540	62,875	7.4%	4.8%
I 売上	\$90	\$84	\$107	27.0%	18.5%

【上表】VS・・・テレビ会議端末、I・・・インフラ装置、売上金額・・・百万 USD Q/Q・・・対前期比 Y/Y・・・対前年同期比 (WR 社資料より作成)

通年	Y/Y
テレビ会議端末売上	18%
テレビ会議端末台数	9%
インフラ装置売上	11%

【上表】Y/Y・・・対前年比 (WR 社資料より作成)

そのうち、第四四半期の売上は、3 億 7500 万 USD、出荷台数 62,875 台を記録した。台数ベースで対前年同期比 5% 増、売上ベースで 13% 増となった。Wainhouse Research 社によると、その売上増は、HD 端末の出荷増とテレプレゼンスシステムの売上が貢献していると説明している。



<http://www.wainhouse.com>

セミナー・展示会情報

<国内>

これからの新しいビデオカンファレンスを読み解く
次世代ビデオ会議システムセミナー

日時: 4月10日(金)、4月15日(金)、4月22日(金)、
4月24日(金)、13:30-15:00

販売店向けとユーザ向けに開催される。日時確認要。

会場: VTVジャパン 東京・大阪ショールーム

主催: VTVジャパン株式会社

詳細・申込:

<http://www.h264svc.net/pressroom/pressroom2.html>

「顧客接点のコスト削減と生産性向上」
～IPコンタクトセンターとユニファイドコミュニケーションの融合～

日時: 4月17日(金) 13:30-17:00

会場: 東京コンファレンスセンター・品川 コンファレンスルーム
406号室

主催: 株式会社ネットマークス

詳細・申込:

<http://www.netmarks.co.jp/event/seminar/090417.html>

世界トップシェアのタンバーク
～なぜ TANDBERG が選ばれるのか～

日時: 4月17日(金) 15:00～16:30

4月23日(木) 15:00～16:30

会場: 日本タンバーク 大阪支社

主催: 日本タンバーク株式会社

詳細・申込:

http://www.tandbergjapan.com/news_and_events/seminar_demo_nl.html

<海外>

Wainhouse Research Collaboration Summit -
Berlin 2009

会期: 4月21日-23日

会場: ドイツ ベルリン The Steigenberger Hotel

主催: Wainhouse Research, LLC

詳細: <http://www.wainhouse.com/berlin09/>

CSP Summit - Berlin 2009

会期: 4月21日

会場: ドイツ ベルリン The Steigenberger Hotel

主催: Wainhouse Research, LLC

詳細: <http://www.wainhouse.com/berlin09/cspsummit.html>

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介